

## 先日、良い記事を目にしました。

それはプロ野球のチーム、ソフトバンク（昔の南海ホークスですね）を常勝軍団に育て上げた、ある名コーチの話です。そのコーチは、

### 「ホームランを打つより、落ちているごみを拾える人間に」

と選手を指導し、チームを強く育て上げたそうです。

当然プロ野球選手なので、野球の技術面の練習もみっちりしているのは当然ですが、後は人間性を磨かないとさらに上のレベルまでいきません。

「普通のこと」ができていない選手には練習の時以上に厳しく接したそうです。

例えば、挨拶の声が小さければやり直させ、風呂場の脱衣所でスリッパが揃っていなかったら、主力選手であろうときつく叱ったそうです。日常から普通のことを普通にできるように、という心掛けが大切だと語ります。

計算が早く正確にできても、成績が良くても、英語がペラペラでも、プログラミングの技術に長けていても、人間性に問題があればそのスキルも宝の持ち腐れになります。

子供たちを指導する我々は、「スキル」を習得させることも大切ですが、それ以上に「普通のこと

子供たちは、子どものころ接する大人の影響を大きく受けます。

子供と接する時間の長い我々大人が口ではなく、背中で手本となるように、まずは自らの行動を見直していかなければなりませんね。

さて、みなさんは「普通のことを普通に」できているでしょうか？